



ワイングラスに注いだ日本酒で乾杯

酒蔵自慢の新酒を飲み比べ 「内子ほろよい新酒発表会」

「内子ほろよい新酒発表会 in オーベルジュ内子」(オーベルジュ内子、米田酒店主催)は3月9・11日の両日、オーベルジュ内子で開かれ、酒六酒造の「一刀両断」や千代の亀酒造の「槽無垢」など11種類の新酒が披露されました。日本酒に合う洋食が提供された他、蔵自慢の1本を隠し酒として紹介するなどの演出がされ、参加者はワイングラスを傾けながら、新酒の味を確かめていました。



越智益子さんのガイドで内子座を見学する参加者

おもてなしの心を磨こう 県内のボランティアガイドが内子で研修会

えひめいやしの南予博の情報交換やガイド対応の向上を目的とした「観光ボランティアガイド等スキルアップ研修会」(愛媛県観光物産協会主催)が3月15日、内子座などで行われました。愛媛県内で活動するボランティアガイドなど50人が参加し、内子町の特産品を使った昼食や町歩きを体験。外国人観光客の増加など、各地域が抱える課題について意見交換をしました。



DVDに見入る参加者の皆さん

平和の尊さを次世代に伝えたい―― 町が戦争体験DVDを制作

内子町民の戦争体験を伝えるDVD、「私の戦争体験記」がこのほど完成し、3月17日に内子自治センターで開かれた「内子地区高齢者大学」(同センター主催)で初上映されました。奥長ミチ子さん=内子5=の戦争体験を題材に、平和の尊さを伝える内容で、子どもにも理解しやすい紙芝居形式の動画になっています。DVDは町内の小中学校などで、平和教育や社会学習のために使われます。



素語りを披露する豊竹嶋太夫さん

豊竹嶋太夫さんが「気軽に文化講座」に登壇 現役さながらの力強い素語りを披露

「気軽に文化講座 in 内子」(同懇話会など主催)は3月24日、内子自治センターで開かれ、2月に引退公演を終えた人間国宝の豊竹嶋太夫さんが講演しました。嶋太夫さんは、写真で修行時代から現在までを振り返りながら、太夫としての熱い思いを語りました。特別に披露された「壺坂観音霊驗記」の一節では、力強い素語りに参加者は圧倒された様子で聞き入っていました。

泉谷の棚田の未来を考える 大学生が御祓地区で卒業論文を発表

泉谷の棚田をテーマに卒業論文を書いた愛媛大学4回生の亀田真美さんと田所沙織さんを招いた「卒業論文発表会」(御祓自治会主催、金元善昭自治会長)が2月27日、御祓自治会館で開かれました。2人は棚田オーナー制度などを通じて、御祓地区で学んだ成果を発表。参加した地域の人たちと意見交換を行い、棚田を守ることの難しさや課題の解決方法などについて考えました。



卒業論文を発表した亀田さん(左)と田所さん

親子で過ごす楽しいひととき 「こそだてフェスタ」

「こそだてフェスタ」(内子町子育て支援センター主催、峯下とも子所長)は2月28日、内子自治センターで開かれ40組・約120人の親子が参加しました。親子はボランティアグループ「TeckTech」の劇などを楽しんだ後、輪ゴム鉄砲や紙相撲などをして遊びました。峯下所長は「このイベントの願い通り、お父さんやお母さん、子どもたちの笑顔がたくさん見られて良かった」と話しました。



昔遊びコーナーで輪投げを楽しむ親子

「みんな見に来てねー」 ふるさとCMで内子座創建100周年をPR

わが町自慢を30秒のCMで伝える「ふるさとCM大賞えひめ2016」(愛媛朝日テレビ主催)の審査会は3月6日、松山市総合コミュニティセンターで開かれました。県内18市町から集まった31作品から、愛媛県出身の映画プロデューサー・梶井省志審査委員長ら4人が、ふるさとCM大賞を決定しました。

内子町からは内子座創建100周年を記念して作った「内子座ことはじめ」(内子座100周年実行委員会制作)を出品し、伊予銀行賞を受賞しました。作品では茂山狂言クラブの児童たちが、「内子座は100歳。みんな見に来てねー」と笑顔で100周年をアピールしました。上映後には出演した児童2人が、和紙で作った衣装で狂言を披露。「大賞以外は知らない。あとは梶井殿の判断にお任せする」と、会場の笑いを誘いました。梶井審査委員長は「伝えたい町の魅力がしっかり伝わってくる。かわいらしくて大好きな作品」と講評しました。

作品は4～9月の間に40回、愛媛朝日テレビで放送されます。



1_ 作品の上映後に狂言を披露する児童 2_ 総合司会の友近さんとたむらけんじさんからインタビューを受ける出演者の皆さん